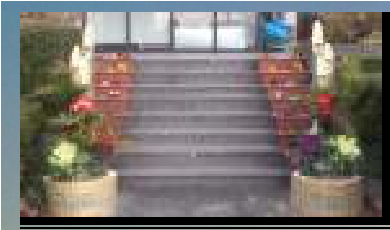


益城町 商工会報 あるがど

発行所/益城町商工会 観光広報委員会
熊本県上益城郡益城町宮園 715-1
TEL 096-286-2551 FAX 096-286-2549
<http://www.mashikishoko.jp/>

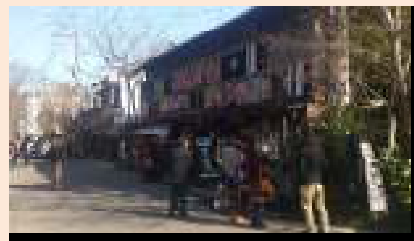
新春号



迎春



新年会員研修を実施しました (1月4日・阿蘇方面)



平成26年1月4日(土)、恒例の新年会員研修を開催しました。本年は阿蘇神社をはじめ、阿蘇地区を研修先としました。一昨年に発生した九州北部豪雨による被災からの復興応援も兼ねて平和な一年となるよう祈願しました。

※研修内容については別項に掲載しております。

本年最初の会報を発行させて頂いていただきます。今年も皆様にとりましてご多幸の年となりますように。

本年もどうぞ
よろしくお願ひ
申し上げます

地域高工業の支援強化を図り
益城町の発展に取り組みます



益城町商工会
会長 住永金

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
旧年中は商工会事業に絶大なる御協力と御指導をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、一昨年の後半から景気の回復傾向が見え始め、各種経済指標等でも概ね堅調推移している日本経済ですが、海外の経済動向など、外部要因の不透明さもあり、中小・小規模事業所にとっては景気回復の恩恵を享受できていない状況が多く見受けられます。
先行き不透明な状況の中で、商工会では経営改善普及事業や地域総合振興事業をはじめ、上益城4町商工会による広域連携事業の中で、重点支援や各種セミナーの開催、一日公庫の開催など各事業所の支援を行ってまいりました。

また、地域振興や益城町のPRを積極的に行うため、「益城町みんなの夏祭り」や「木山初市」を開催し、町内外から非常に多くの来場客を迎える事が出来ました。

益城町は立地や交通アクセスに優れていることに加え、豊富な資源を有する極めて恵まれた環境の町です。

この豊富な資源を十分に活かし、益城町のさらなる発展のため、また住民の皆様の暮らしやすさのためには商工会組織を構成する会員をはじめとした地域の商工業者が元気で活発であることが重要と考えます。

新春にあたり益城町の皆様へ

商工会の役割はさらに重要となっており、本年も町当局をはじめ関係諸機関と連携しながら引き続き商工業者の支援強化を図ってまいります。
本年も素晴らしい一年となりますよう、皆様のご健勝を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

日本一住みよい町づくりを目指して



益城町長
住永幸三郎

平成26年の年明けを迎え、益城町商工会員並びに、ご家族の皆様には輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

貴会におかれましては、平素より本町の商工業振興にご尽力いただいておりますことに対し、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、社会経済においては「アベノミクス」による景気上昇が取り上げられておりますが、地方経済においては、いまだ厳しい状況が続いております。

本町におきましては、昨年11月に株式会社ロッキーとの工場立地協定を結び、本年秋季に操業開始予定としております。今後は、雇用拡大及び本町の経済活性化につなげていく所存でございます。

また、セーフティネットによる設備融資枠の拡大、中小企業店舗改装、設備投資等の融資利子補給で、商工業を活性化できればと考えております。

毎年恒例の夏祭りにおきましては、商工会の皆様のお力により、天候が心配されたなか多くのお客様にご来場いただくことができました。今後もこの伝統ある祭りが途絶える事がないよう願っております。

私も、町長に就任以来7年9か月を経過いたしました。諸政策に取り組み、人口も増え始め、着々と「日本一住みやすい」町づくりが出来、成長の兆しが見えてきました。本年も商工会の皆様と連携を密にし、この流れを変えないよう頑張つて参りますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、皆様方ますますのご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

益城町の力強い発展と
幸多き一年を願って



熊本県議会議員
杉浦康治

新年明けましておめでとございます。

益城町商工会の皆様におかれましては、日頃から商工業の振興にご活躍いただいておりますことに心から感謝申し上げます。

さて、先般から景気の回復が多くのメディアで報じられており、業績予想を上方修正する大手企業も目立ってきております。

明るい事として素直に受け止めたい気持ちではありますが、現実には地方への波及

にはまだ時間を要するものと思われ、厳しい経営のかじ取りの中で頑張つていらっしゃる事業所の皆さまが多い印象を受けます。

ただ、少子高齢化の進行や景気の低迷により、人口減少や産業の停滞に悩む地域が増加している中において、益城町はまだ高い将来性を持つ恵まれた環境の地域であります。

益城町の発展を皆が実感できるように、また子供や若者が希望に満ち溢れ、お年寄りが安心して暮らせるよう、県政への政策提言等を重ねながら具現化していく事が重要と考えております。

本年の干支である午年（うまどし）のようにより力強く軽やかに駆け抜け、さらに飛躍発展する新たな益城町の創造のために尽力し、そして皆様にとりましてご多幸の一年になります事を心から祈念しまして私からの新年のご挨拶とさせていただきます。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

